

ハツと育

プロジェクト設計・ 問題解決フォーマット

希望も問題も、価値から明確にし、
知恵を使って実践可能な形へ変える。



価値 → 仮説 → 小さな実践 → 学び

価値は、体験として繰り返すことで身につく

5 VALUESを判断基準に、9 GUIDELINESで環境を設計し、日々の小さな実践へ変換する。



希望も問題も、4つのステップで実践へ変える

出発点を聞き、価値で明確にし、指針で仮説をつくり、ズレを次の学びへ変える。



価値は“座標”、指針は“道具”、実践は“検証”になる

三つの役割を分けることで、理念を掲げるだけでなく、再現可能な設計と学びにつなげる。

01

5 VALUES + 1 IDEAL

現在地と目標を測る座標

尊重・創造・成長・自由・平等と、唯一無二／平和を基準に、不足・誤解・偏りを見つける。

02

9 GUIDELINES

仮説と方法をつくる知恵

問題の見方、関係の捉え方、環境設計、心と行動の知恵から、特性に合う方法を選ぶ。

03

PRACTICE & REVIEW

仮説を確かめる実践

良し悪しで人を判断せず、計画とのズレ、本人の反応、起きた変化を次の調整材料にする。

理念 → 分析 → 仮説 → 実践 → 検証 → 修正

プロジェクト設計・問題解決シート

依頼者と一緒に書き込み、実践後も更新し続けるための一枚。

PROJECT：_____

CLIENT：_____

DATE：_____

LEADER：_____

01 | 依頼を聞く

希望から：実現したいこと／問題から：困っていること

目的・背景：_____

関係する人：_____

集める情報：_____

02 | 5 VALUES + 1 IDEALで明確化

現状・目標・問題を「不足・誤解・偏り」から捉える

尊重・創造・成長：_____

自由・平等・平和：_____

目標・座標・方向性：_____

03 | 9つの指針で仮説を設計

使う指針を選び、特性を活かした方法へ具体化する

選んだ指針：_____

解決・実現の仮説：_____

役割・共有・判断：_____

04 | 実践・検証・修正

良し悪しではなく、計画とのズレから学ぶ

実践するプラン：_____

起きたズレ・学び：_____

調整と次の一歩：_____

実践事例を、次の設計に役立つ知恵として残す

成果だけでなく、出発点・仮説・実践・変化・学びを同じ構造で記録する。

CASE： _____ 期間： _____ 対象： _____

01

出発点

希望・問題
背景・対象
初期の状態

記録：

02

分析

5 VALUES
+ 1 IDEAL
不足・誤解・偏り

記録：

03

仮説と設計

選んだ指針
プログラム
役割・判断基準

記録：

04

実践

行ったこと
途中のズレ
調整したこと

記録：

05

変化・検証・次の一步

定量的な結果
本人・関係者の声
観察された変化
限界と次の仮説

記録：

検証に使う資料 ☐ アンケート ☐ 成長記録 ☐ 成績・到達度 ☐ 観察記録 ☐ 本人・保護者・関係者の声 ☐ その他

この事例から、他の現場でも試せる知恵は何か： _____